

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

注意 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

 してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。

配線や取り付けをするとき

警告



発火、発煙、事故、けが、感電などを防ぐために…

本機は、DC 12V ⊖アース車専用です

DC 24 V車(大型トラック、寒冷地仕様のディーゼル車など)には、使用できません。火災や故障の原因になります。



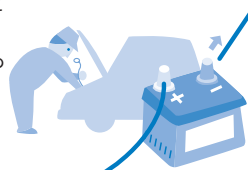
説明書に従って、配線や取り付けをする

作業は手順通りに正しく行ってください。火災や事故の原因になります。



作業中は、必ずバッテリーの⊖端子を外す

外さずに作業をすると、ショートによる感電やけがの原因になります。



作業前に車体の電気配線、パイプ類、タンクなどの位置を確認する

車体に穴を開ける場合は、電気配線などに干渉・接触しないようにし、また加工部にサビ止め・浸水防止処置をしてください。火災や感電、事故の原因になります。

使用しないコードの先端などは、テープなどで絶縁する
芯線が金属部に接触すると、ショートによる火災や感電の原因になります。

必ず、サイドブレーキコードを正しく配線する

安全機能が働かず、交通事故の原因になります。

コード類は、運転や乗り降りを妨げないように引き回す

足やブレーキペダル・ステアリングなどに巻きつくと、事故やけがの原因になります。

作業後は、車の電装品*の動作確認をする

火災や感電、事故の原因になります。
* ブレーキ、ライト、ホーン、ウinkerなど

フィルムアンテナは、取り付け許容範囲にはり付ける

視界不良による交通事故の原因になります。

配線や取り付けをするとき

警告

 **運転や視界を妨げる場所には、取り付けない**

交通事故の原因になります。

※ シフトレバーやブレーキペダル付近など



 **エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けない**

エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグで本機や部品が飛ばされ、事故やけがの原因になります。

アース配線や取り付けに、車の保安部品*を使わない

制御不能や発火、事故の原因になります。

※ ステアリング、ブレーキ系統、タンクなどのボルトやナット

 **分解や修理、改造をしない**

特に、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは、絶対におやめください。火災や感電、事故の原因になります。

分解禁止

注意

 **必ず、付属品や指定の部品を使用する**

機器の損傷や確実に固定できないことなどによる、事故や故障、火災の原因になります。

GPSアンテナや車載用カメラなどのコードは、車内へ引き込む

雨や洗車などの水が、車内に浸水すると、火災や感電の原因になります。

注意

 **配線や取り付け(取り外し)は、専門技術者に依頼する**

専門技術と経験が必要ですので、お買い上げの販売店にご依頼ください。

ナビゲーションユニットやGPSアンテナなどは、しっかり取り付ける

取り付け場所の汚れ(ワックスなど)はふき取り、確実に固定してください。再取り付けや汎用の両面テープなどは接着力が弱いため、ときどき取り付け状態(接着やねじのゆるみなど)を点検してください。事故やけがの原因になります。

 **高温になる場所*などに取り付けない**

火災や故障の原因になります。

※ 直射日光やヒーターの熱風などが直接当たるところ

コードを破損しない

傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱器具へ近づける、車の高温部に接触させるなどしない。車体やねじ、可動部(シートレールなど)へ挟み込まないように引き回す。ドライバーなどの先で押し込まない。断線やショートによる火災や感電、事故の原因になります。

振動や傾き、強い曲面のある不安定な場所には、取り付けない

走行中に外れ、事故やけがの原因になります。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない

水や油煙などが入ると、発煙、発火、感電、故障の原因になります。

本機の通風孔をふさがない

内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。